

大学の授業を支援するウェブログネットワーク

A Blog Service Supporting Study and Group-Work of University Students.

山下 清美
YAMASHITA, Kiyomi

専修大学ネットワーク情報学部
Senshu University Faculty of Information and Network

To support student and teacher's communication at the university, we proposed and used the web community service using three different types of blogs (academic, group, and personal). The blog network service was evaluated in two classes (a class with group works and a lecture).

1. はじめに

ブログを単体で利用するのではなく連携させて利用することによって、大学の授業を支援するブログサービスの仕組みを提案し実装した。これにより、授業における学生と教員のコミュニケーションを支援し、交流を円滑にするだけでなく、情報の連携や蓄積がしやすくなることを目指した。このサービスを半年間の講義科目と1年間の演習科目で実際に使用した。

2. 授業支援ブログの概要

2.1 主な特徴

授業支援ブログサービスは、既存のブログツールを基に、気軽に書き込みやすい機能を追加し、アンテナツールを組み合わせることで情報の集約性を図り、さらに全体のデザイン性を考慮してユーザビリティのよい環境を整備した。授業やグループでのコミュニケーションを自然に活性化する状況を作り出す仕組みを提案し実装した点に特徴がある。

2.2 構成

Fig.1 に授業支援ブログの構成を示す。授業支援ブログは、次の3種類のブログから構成される。

個人ブログ: 教員・学生が個人でひとつずつ所有する。自分が投稿したすべての内容と、関係する授業やグループブログの更新状況が集約される。

授業ブログ: 授業に割り当てられ、教員と受講生が共有する。授業のシラバスや授業に関する内容が集約され、担当教員からの連絡や、学生からの授業に関する質問や課題提出に活用される。

グループブログ: グループ作業のためにグループでひとつ共有する。グループ活動に関する内容が集約される。作業の進捗状況やスケジュールなど、必要な情報の伝達や情報共有に便利である。

これらのブログの更新状況を把握したり、学生に有用な情報を提供したりするために、アンテナを組み込んだ。

2.3 投稿インターフェース

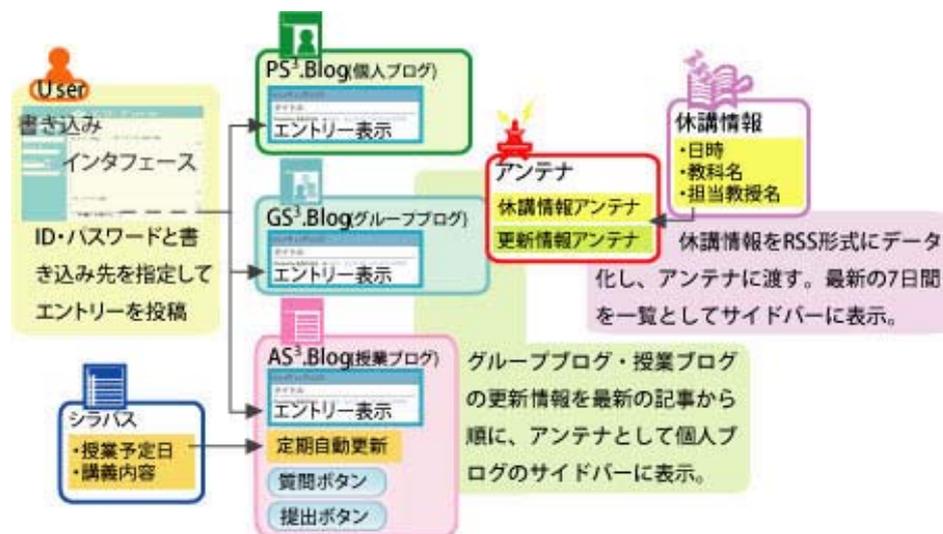
授業支援ブログには、書き込み専用のインターフェースが設けられた。このインターフェースで、自分の個人ブログと授業ブログ(またはグループブログ)の二種類に同じエントリーを同時投稿できる。自分のブログのみに投稿することや、投稿の際に任意のエントリーに対してトラックバックを指定することも可能である。

2.4 拡張機能

授業ブログとグループブログの各エントリーに設置された、質問ボタンと提出ボタンをクリックすると、投稿インターフェースが表示され、トラックバックが自動的に指定されるので、ユーザはトラックバックを手動で入力することなく、関連エントリーにトラックバックを送信することができる。これにより、質問や課題提出が容易で、かつブログ間のつながりがわかりやすくなる。他に、毎回授業の概要が自動的に投稿される自動当高機能や、受講者が自発的にノートを蓄積できる共同ノート機能がある。

2.5 実装

ブログサービス専用サーバを設置し、OS に FreeBSD を、ブログツールとして Movable Type を用い、投稿インターフェースは、XML-RPC API の metaWeblog.newPost メソッド (Perl モジュールとして、Net::MovableType) を利用した。



連絡先: 山下清美(専修大学ネットワーク情報学部)

E-mail: yamasita@psy.senshu-u.ac.jp

Fig. 1 授業支援ブログの構成と利用の流れ

3. 授業での利用実験

3.1 対象授業

2005年度の専修大学ネットワーク情報学部で開講された2つの授業で実際に使用した。対象授業の概要は以下のとおり。

- ・ 科目1(グループワーク主体の科目)
 - 2年次の演習科目, 通年・必修
 - 受講生 77名, スタッフ:教員 6名, T.A.3名
 - ・ 科目2(講義主体の科目)
 - 2年次以上の講義科目, 半期(前期)・選択必修
 - 受講生約 150名, 担当教員 1名
- なお 64名が, ふたつの科目を両方とも受講していた。

3.2 科目1での利用方法

受講生およびスタッフ全員が個人ブログを設置した。前期は1グループ4, 5名の16個のグループブログを使用した。後期は1グループ6, 7名の12個のグループブログを使用した。

授業ブログには, 自動投稿により毎週の授業のお知らせを掲載するとともに, 教員スタッフから学生への連絡や, 授業全体の課題を掲載した。

グループブログには, 毎週作業記録掲載用のエントリーを自動投稿によって作成し, グループメンバーはそのエントリーに作業報告を提出した。これ以外のグループブログの使い方は, 各グループの自由に任せた。

3.3 科目2での利用方法

自動投稿により授業ブログに毎週の授業のお知らせを掲載した。このエントリーには, 授業後課題が追加された。

受講生は, 最初のうちはコメントで, 個人ブログ設置後は提出ボタンによって課題を提出した。ただし提出は(一部の回を除き)原則として任意とした。また, 受講生はファイルアップロード機能を使ってレポートを自分のブログに掲載し, ペアとなった受講生どうしが相手のレポートを読んで相互に感想をトラックバックした。(この授業ではグループブログは使用しなかった。)

4. 授業支援ブログ利用者調査

4.1 調査方法

科目1, 科目2ともに, 授業支援ブログ利用前の学生のブログ利用状況を把握するために, ブログ設置の前に, ブログの認知度, 利用経験などを問う簡単な質問紙調査を行った。

通年科目である科目1については, 前期の最終授業と後期の中間時点の2回, 質問紙調査を実施した。前期末の調査は, ブログの使用頻度, グループワークへのブログの活用度, 有用性などを中心に18項目, 後期中間の調査は, グループワークへのブログの活用度, 有用性などを問う10項目から構成された。

半期科目である科目2の最終授業で, ブログの使用頻度, ブログの有用性, 主な機能に対する意識, ブログ理解の変化などについて, 選択式と自由記述を含めて19項目の質問紙調査からなる質問紙調査を実施した。

4.2 結果

(1) ブログ設置前のブログ利用経験

科目1の受講生75名から回答を得た結果, ブログを作成した経験のない人が55%, 作成したことはあるが現在更新していない人が15%, 作成して現在も更新している人が30%であった。

ただし作成したことがある人の大部分は, ホスティング型のブログで, Movable Typeのようなサーバインストール型のブログを作成したことがある人は12%(全体の5%)であった。

科目2の受講生で科目1を受講していない85名の回答でもほぼ同様で, ブログ作成経験がない人が60%, 作成したことはあるが更新していない人が15%, 現在も更新している人が25%であった。またサーバインストール型のブログを作成した経験がある人は, 全体の9%であった。

ただしブログの認知度はどちらの科目でも高く, ブログを知っている, 見たことがある, という人は全体の約9割であった。

(2) グループワークにおけるブログの有用性

科目1で, ブログをグループワークの情報共有, 進捗管理のツールとして使用したが, これに対する学生の評価は分かれた。前期末調査で, 「授業支援ブログは, メンバー間の連絡やコミュニケーションに役立ちましたか?」という質問に対する回答は, 「役立った」16%, 「どちらかといえば役立った」36%, 「どちらかといえば役立たなかった」32%, 「役立たなかった」16%であった。ただし同じ質問に対する後期中間の回答は, 「役立った」24%, 「どちらかといえば役立った」46%, 「どちらかといえば役立たなかった」19%, 「役立たなかった」11%と, 評価は上昇している。

また詳細に分析すると, ブログに対する評価は, グループ間で違いが大きく, これはブログの活用頻度のグループ格差とも対応していた。ブログをメンバーが共有してうまく活用できたグループと, あまりできなかったグループが存在したといえる。

(3) 講義科目におけるブログ利用の問題点

科目2では, ブログを使って課題を提出したり, 学生どうしが相互にレポートを読んで感想をコメントしたり, 共同ノート機能を使って自由にノートを共有してもらうなど, ブログにさまざまな授業活性化の機能をつけた。課題提出は容易であったという反応が多かった。提出ボタンにより簡単に投稿しトラックバックを送る機能が評価されたと考えられる。レポートを学生どうしがコメントしたことについては, 全体としてはよいという回答が多かったが, 拒否反応もあった。共同ノート機能は自発的にはまったく使われず, 使おうと思った人も少なかったが, 誰かが使ってくるとよいと思っていた, という回答がかなり見られたことから, きっかけがあれば使われる可能性はあったかもしれない。

5. まとめ

大学教育でブログを利用する例はかなり増えてきているが, ブログのコミュニケーションツールとしての機能を十分生かしているとは言えない。授業における教員と学生, 学生どうしのコミュニケーションを活性化する機能を強化した授業支援ブログは, 一歩踏み込んだ教育でのブログ活用の実践である。今後さらに実際の授業で利用しながら, 活用の可能性を検討していく予定である。

参考文献

- [佐浦 2005] 佐浦敬之・山下清美: 授業支援ブログサービスを用いたコミュニケーション支援の提案と運用, 情報処理学会情報システムと社会環境研究会研究報告, PP39-46, 2005.
 授業支援ブログトップ <http://epi.fm.senshu-u.ac.jp/>
 PROJECT WEBLOG <http://www.ne.senshu-u.ac.jp/~poj16-24/>

[付記] Movable Type は Six Apart 社が提供するブログツールである。授業支援ブログは, 2004年度のネットワーク情報学部プロジェクト16-24の成果である。開発と運用にあたり, 特に学生の佐浦敬之さんと古沢一樹さんの協力を得た。